# 君津市第3次健康きみつ21【概要版】

# 計画の概要

# 1. 計画策定の趣旨

高齢化の進展や生活習慣の変化により、がん、糖尿病などの生活習慣病の割合は増加し、医療費全体の約3割を占めています。長寿命化の中で市民の誰もが健康に生活できることは重要であり、予防・健康づくりの取組みをさらに進めていく必要があります。

本市では、平成25年度に「第2次健康きみつ21」を策定し、生活 習慣病予防に重点をおいた健康づくり施策に取り組んできました。この 間、自然災害や新型感染症の発生などの社会環境の変化により、個人の 意識や行動も大きな影響を受けました。

このような市民の健康を取り巻く現状・課題などを踏まえ、「第3次健康きみつ21」を策定するものです。

# 2. 計画の性格

本計画は、健康増進法に基づく「健康増進計画」、食育基本法に基づく「食育推進計画」及び自殺対策基本法に基づく「自殺対策計画」を一体的に策定します。



# 3. 計画の期間

令和6年度から令和17年度までの12年間

# 君津市の健康に関する現状と課題

# 1. 現状

#### (1) 死亡の状況

# 主要死因別死亡数と死亡率

#### 順位 傷病名 死亡率 (X) 悪性新生物(がん) 318. 1 1位 258 242.9 2位 心疾患 197 3位 老衰 92 113.4 112.2 4位 肺炎 91 78 96.2 5位 脳血管疾患

※この表の死亡率は粗死亡率であり、人口10万人 あたりの死亡数です。

全死亡数

令和3年千葉県衛生統計年報

1,026

# (2) 国保医療費から見る疾病状況

### 医療費(入院+外来)

順位	疾病名	割合 (%)
1位	慢性腎臓病(透析あり)	6.2
2位	糖尿病	6.2
3位	関節疾患	4.3
4位	高血圧症	3.2
5位	統合失調症	2.9
6位	不整脈	2.7
7位	肺がん	2.0
8位	脂質異常症	2.0
9位	乳がん	2.0
10位	うつ病	1.7

※全体の医療費(入院+外来)を100%として計算

国保データベース(KDB)システム(令和4年度)

# 2. 課題

#### 課題① がん

近年主要死因の 1 位はがんであり、また国保疾病別医療費のうち、 入院の 20%、外来の 15%を占めています。健康的な生活習慣の維持、 早期発見・早期治療のための検診の受診などの対策の強化が必要です。

### 課題② 生活習慣病の予防・重症化予防

入院・外来を併せた全体の医療費の 1 位は慢性腎臓病(透析あり)です。本市では人工透析導入の原因疾患としては糖尿病が約半数を占めており、生活習慣病の発症予防と重症化予防の取組みが重要です。

## 課題③ 適切な食事及び運動の習慣化

バランスの良い食事の摂取などの項目について横ばいか、悪化の状態です。また、成人の約3割が日常的に運動やスポーツを行っていないとの報告があります。適切な食事及び運動の習慣化が図られるような働きかけや環境整備を引き続き行う必要があります。

#### 課題4 自殺対策

本市の自殺者数は人口 10 万人あたり 10~20 人で推移していますが、誰一人自殺に追い込まれることのない社会を目指して、予防対策を行うことは極めて重要です。適切な援助の提供とともに、自殺を防ぐための社会全体の理解と取組みを進めることが重要です。

# 施策の展開

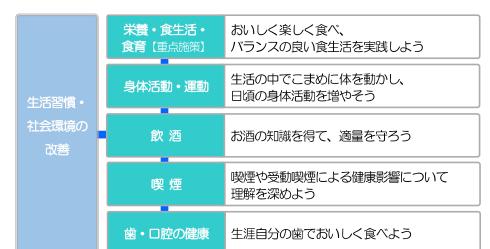
基本理念

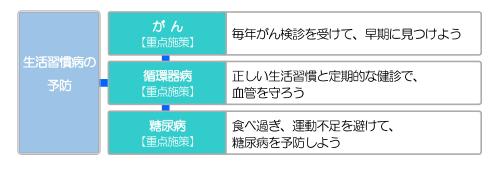
市民一人ひとりの健康づくりの取組みと社会環境の整備・質の向上

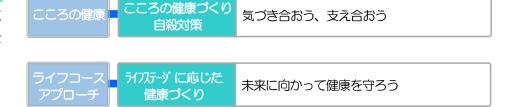
~病気を未然に防いで市民が健康で元気に暮らせるまち~

目標

健康寿命の延伸







デジタル技術 の活用

DX の推進

健康づくりにデジタル技術を活用しよう

# 対策の全体像

### 生活習慣・社会環境の改善

#### 栄養・食生活・食育【食育推進計画】【重点施策】

#### ■家庭における食育の推進

こどもの生活習慣形成や適切な栄養管理について保護者への啓発や保健 指導を行います。

■学校、保育園などにおける食育の推進

教育機関などで、食育指導を行います。

■地域における食育の推進

妊娠期から高齢期まで各年代に応じた栄養・食生活に関する健康教育を

#### 実施します。

主な指標	現状値	目標値
適正体重を維持している者の割合の増加	55 <b>.</b> 9%	60.0%

#### 身体活動・運動

- ■運動の必要性などについての知識の普及・啓発 運動・身体活動について啓発を行います。
- ■身体活動及び運動習慣の定着

運動教室などの参加を促し習慣の定着化を図ります。

■運動をしやすい環境づくり

主な指標	現状値	目標値
日常生活において歩行又は同等の身体 活動を1日1時間以上実施している 者の割合 (40~74歳)	50. 4%	55 <b>.</b> 5%

#### 喫 煙

■喫煙の害に関する知識の普及・啓発

各種健診(検診)会場や健康講座で禁煙に関する普及啓発を図ります。

■禁煙支援の推進

禁煙外来の紹介や健康相談などでの禁煙支援を行います。

■受動喫煙防止の推進

受動喫煙の健康への影響や、禁煙・分煙の必要性について普及啓発を 行うなど、受動喫煙防止の認識を広めます。

主な指標		現状値	目標値
喫煙率の減少	男性	22.7%	12.0%
	女性	7. 0%	5. 0%

# ■生産から消費まで食のつながりを意識した食育の推進 地産地消や農業体験の取組みを進めます。

■食育を進める環境づくり

食育を推進する団体を支援し、食育に関する市民の意識の向上を図 ります。

# 飲酒

■アルコールによる健康障害、適量飲酒に関する知識の普及・啓発 飲酒に関する知識の普及啓発を図るとともに、健康相談などで適量飲 酒への支援を行います。

主な	指標	現状値	目標値
生活習慣病のリ スクを高める量	20~39歳	13.1%	12.1%
の飲酒者の割合の減少(女性)	40~74 歳	10.0%	9. 0%

#### 歯・口腔の健康

#### ■歯科保健知識の普及

むし歯・歯周病予防のための知識を普及し、保健指導とフッ化物応用 に重点的に取り組みます。

■定期的な歯科健診の推進

健診の重要性を啓発し、歯科医療機関への受療につなげます。

主な指標	現状値	目標値
3歳児でむし歯のない者の割合の増加	88.8%	90.0%
歯周病を有する者の割合の減少	54.3%	50.0%

## 生活習慣病の予防

#### がん【重点施策】

■がん予防に関する啓発・健康教育

小・中高校生・働く世代や女性など様々な対象に向けてがん予防の普及啓 検診の受診環境整備や精密検査未受診者への受診再勧奨を行いま 発を行います。

■がん検診受診率向上の施策

す。

主な指標	現状値	目標値
各種がん検診受診率の向上	2~13%	5~17%

#### 循環器病【重点施策】

■健診受診率の向上

周知に努め健診受診の習慣化を図ります。

■発症・重症化予防のための保健指導

高血圧・脂質異常・肥満者の減少を目指し保健指導を行います。

■循環器病に関する啓発・健康教育

健康講座や医療講演会を開催し啓発に努めます。

主な指標	現状値	目標値
高血圧の改善(平均値)	133.1mmHg	130 mm Hg

## 糖尿病【重点施策】

■健診受診率の向上

周知に努め健診受診の習慣化を図ります。

■発症・重症化予防のための保健指導

血糖コントロール不良者の減少を目ざし、保健指導を行います。

■糖尿病に関する啓発・健康教育

健康講座や医療講演会を開催し啓発に努めます。

主な指標	現状値	目標値
糖尿病合併症(透析)の新規導入患者数	10人	9人
血糖コントロール不良者の割合	1.4%	1.0%

# こころの健康【自殺対策計画】

#### こころの健康づくり及び自殺対策の推進

■こころの健康に関する教育の推進

健康講座などの機会にこころの健康について知識の普及を行います。

■専門家による相談事業の推進

各種相談窓口が連携し、適切な支援を迅速に行います。

- ■地域におけるネットワークの強化
- ■自殺対策を支える人材の育成
- ■住民への啓発と周知
- ■自殺未遂者・自死遺族などへの支援の充実
- ■児童生徒の SOS の出し方に関する教育の推進

主な指標	現状値	目標値
自殺死亡率(人口10万人あたり・直近3か年平均)の減少	16.3人	9.0 人以下

# ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

# ライフステージに応じた健康づくりの推進

■こどもへの支援

成育医療等基本方針に基づく取組とも連携し、将来を見据えたこどもの心 身の健康づくりに取り組みます。

■高齢者への支援

運動習慣定着とフレイル予防の推進により、健康の維持増進を図ります。

■女性への支援

妊産婦の健康づくり、女性特有のがん対策、ロコモティブシンドロームや 骨粗しょう症の予防のための若い世代からの健康づくりを推進します。

#### デジタル技術の活用

# DXの推進

■PHRの活用の推進

市民・市内の医療機関などに対して、PHRサービスの普及等を推進 することにより、行動変容を促し、健康寿命の延伸等を図ります。